

団体名	山梨県国際文化交流会							
事業名	留学生と地域住民(一般県民・本会会員・本会に関する国際交流関係者)との交流会							
実施期間	平成28年10月8日(土)							
場 所	KKR 甲府ニュー芙蓉(甲府市塩部3-6-10)							
参加者数	外国人留学生	その他外国人	日本人学生	地域住民	スタッフ	大学関係者	来場者等	合計
	53	3	4	16	19	1	9	105

### <実施内容>

1. 3大学の留学生代表(①山梨大学大学院2年生、ベトナム出身②山梨学院大学2年生、中国出身③山梨英和大学3年生、中国出身)による意見発表が行われた。発表のタイトルは「山梨県の魅力と改善点について」であった。山梨県の魅力については、①自然に恵まれ、自然が非常に美しい。②空気がきれいで、素晴らしい富士山を近くから見るができる。③果物にも恵まれ、大変おいしい。④東京などに比べると物価も安く、比較的住みやすい。⑤山梨の人は、親切でやさしい。⑥山梨は、自分が学び、人を育ててくれる場所である。などの意見が出た。山梨県の改善点については、①道路が狭い。②暴走族などのバイク運転による騒音に大迷惑を受けている。③交通の便がよくない。バス、電車の本数が少ない。車がないとほとんどどこにも行けない。④ドライバーが歩行者に道を譲ろうとしない。⑤外国人労働者数が増えているが、市役所など公的な場所への通訳の増員とそれに代わる電子機器(翻訳機など)の設置が必要である。⑥大学卒業後、山梨県内に就職を希望する留学生もいる。企業は、自身のPRをもっとすべきであり、留学生を対象とした就職活動のためのセミナー・説明会を開いてほしい。⑦山梨は、自然に恵まれた素晴らしいところだが、そのPRがまだ足りないように思う。そのすばらしさを県外(世界)にいかにかPRすべきかが一番大事である。の意見が出た。参加したALTからは、①3人の意見発表者と同じ意見である。②地方の企業・店・観光地などでは、英語などのウェブサイトはまだ持っていないところが多い。ウェブサイトの充実を望む。という意見が出た。

2. 総勢105名が集まり、国際理解・国際親善を深めるための交流パーティーが行われた。7ヶ国からの留学生と地域住民(会員と一般住民)との交流、留学生間の交流については、アンケート集計結果は、それぞれの間で交流がよく行われ、また国際間の理解・親善も深められたことを示している。特に注目すべきは、事業全体(意見発表・余興《日本舞踊・二胡演奏》・抹茶の振る舞いなど)への満足度の高さである。アンケート調査では、全体の9割近くの人が「大変満足した」、「満足した」と答えた。

### <記録写真>



3大学代表が意見発表を行う。 交流パーティーで親善を図る。 伝統的な日本舞踊を楽しむ。

### <参加者からのコメント>

王仁僑さん(中国) Jinkyou Ou

張 康さん(中国) Kou Chou

私は山梨に来て、他の大学及び地域の住民と一緒に、交流会に参加したことは初めてです。私は、今度の交流会を通して、山梨に対するイメージも変わりました。私は、山梨に対して、今まで気づいていない良い点もたくさん知りました。日本の抹茶の飲み方や日本の伝統的な舞踊を鑑賞し、日本の文化に深く触れることもできました。そして、私は、自分の考え方を留学生にシェアすることもできて、他の留学生もこれからの山梨での生活を楽しめると思います。私は、これからも、このような交流会に参加したいと思います。

10月8日の留学生交流会に参加できて本当に嬉しかったです。山梨大学、山梨学院大学と山梨英和大学の代表のスピーチを拝聴して大変勉強になりました。1番印象に残っているのは5歳の子供の踊りでした。あんなに小さな子供でも日本の伝統芸術ができるのには本当に驚きました。日本と中国の伝統芸術を鑑賞しながら、3つの学校の留学生と一緒にとても楽しい時間を過ごせました。今度機会があればぜひまた参加したいです。